

編輯室の内外

随分暑いナイ。何遍繰返して言つたところであらう。涼風が来る譯ではないが、夫れを口にして暑さを忘れやうとする所に人間感有する、會々風に見舞はれると御濠端の舗装道路の塵埃で、卓上はボールの代用物と爲る、いま迄は舗装道路を奨励したが、是からは防塵の奨励が必要やと、今更のやうに離立てるが、夫れは當初から判り切つてゐること、編輯室の連中が今頃口にする事ではない、東京市土木局長の近き人に唯だ防塵装置を實行して貰ふより外ないことだ、と、汗を拭きながら雑談に耽つてゐると、路政僧宛の一通の手紙が届いた、

差出人は誰であらう、道路法制定當初の内務省道路課長——元神奈川縣知事——現東京市政調査會理事の池田宏氏であつた。

啓上益御多祥奉大賀候、却説土木會議等御準備の爲御多忙の事と存候、申上ぐるまでもなく土木界の法制は篤と中央統制を保ちつゝ地方自治との間に再吟味を遂げ夫々の法制の間に機構の統

整を圖りつゝ夫々の行政目的を達成するに全般的の研究を必要とするものと存候處、老兄多年の識見に依りて始めて此難事業を完成し得べき義と存候間何卒不朽の名と功業とな我國の斯界に貽すの概を以て御精進被下候様切に祈上げつゝ御健康を祝する次第に候。

大先輩池田宏氏よりの所望を達成するに、餘りに貧弱な路政僧であつて恐縮する、併し御鞭撻に預つた御高志に酬ゆる爲に緊揮一番奮闘しなければならぬ、矢張り吾等の蔭には池田氏の如き先覺の士が居られて指導さるゝことを想ふとき、吾々は何々たる暑さの如きは願ふべきではない、夫れに動機して編輯室は今更の如く緊張し路政の進展を劃策するのである。茲に謹て敬意を表する。

本會の本年度事業も決定を見るに至つた、其の内の重大事業は此秋大阪市に於て道路大會を開くことである、集る人は本會の會員は勿論本誌の愛讀者即ち賛助員諸氏であるが、是等の人々から研究された事柄の報告を受けて、夫れを基礎にして對論をしたり、會議の意見を政府なり地方當局に

建議すの外京阪神地方に於ける近代道路を披露すると同時に路政の爲に氣焔を擧げやうと言ふのである。我國最初の試であつて成効すべきは疑はないが、讀者各位は制限出席員數に溢れないやうに出席して貰ひたいものだ。

× × × × ×

本誌定價 五十錢
一ヶ年分 金 六圓

東京市麴町區大手町一丁目内務省内
發行所 社団法人 道路改良會

東京市澁谷區幡ヶ谷本町三丁目三五六
發行兼編輯者 小島 效

東京市小石川區諏訪町五六
印刷所 常磐印刷所

印刷者 堀江關武